

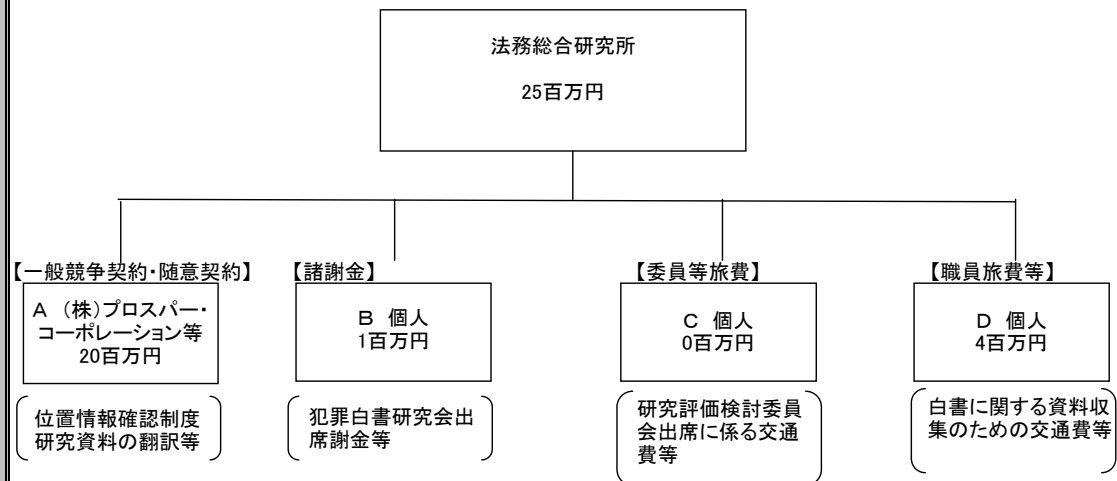
平成23年行政事業レビューシート

(法務省)

事業名	法務に関する調査研究	担当部署	法務総合研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和34年度	担当課室	総務企画部総務課	総務企画部副部長 丸山 毅			
会計区分	一般会計	施策名	法務に関する調査研究				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	法務省設置法第4条第6号 法務省組織例第61条、第62条第1項第1号	関係する計画、通知等	犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008 犯罪被害者基本計画(平成17年12月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	検察、裁判、矯正及び更生保護の各分野における諸政策の今日的課題に関して、各分野を横断する幅広い実証的調査・研究を実施し、刑事政策の立案・実施等に資する基礎資料を提供する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	経常研究として、犯罪の動向・犯罪者の処遇に関する調査・研究を行い、その成果を「犯罪白書」として発表する。特別研究として、法務本省の各局が抱える刑事政策の課題に関する調査・研究を行い、その成果を「研究部報告」等として取りまとめる。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	52	43	40	34	31
		補正予算	△6	0	△4		
		繰越し等	0	0	△1	1	
		計	46	43	35	35	31
	執行額		39	34	25		
	執行率(%)		84.8%	79.1%	71.4%		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (20年度)
	調査研究の成果(犯罪白書・研究部報告)が記事において利用(引用)された本数	成果実績	本	120	131	111	120
		達成度	%	100.0%	109.2%	92.5%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査研究(犯罪白書・研究部報告)に係る個別研究の実施数	活動実績 (当初見込み)	個	346	373	373	(364)
単位当たり コスト	67,024(円/個)		算出根拠	平成22年度執行額÷調査研究(犯罪白書・研究部報告)に係る個別研究の実施数			
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	2	2	計画終了に伴う減、新規研究立上げに伴う増			
	職員旅費	3	4				
	委員等旅費	0	0				
	試験研究費	29	25				
				計画終了に伴う減、印刷物の発行部数見直しに伴う減、備品・消耗品の必要数見直しに伴う減、新規研究立上げに伴う増			
	計	34	31				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業は、法務省関係部局において、諸施策を有効適切に実施するための基礎資料を提供することを目的とするものであり、今後も時宜にかなった課題を選定するよう努め、調査・研究の内容、手法等を精査することとしたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	調査研究について精査・見直しを行い、経費の削減を図るべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	所見のとおり、備品や消耗品などの所要数を見直すとともに、研究部資料の発行部数を見直し、経費を削減した。 (▲3百万円)		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する) (単位: 百
万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A. (株)プロスパー・コーポレーション			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	位置情報確認制度研究資料の翻訳	3			
	計		3	計		0
	B. 個人A			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	会議出席謝金	犯罪白書研究会出席謝金	0			
	計		0	計		0
	C. 個人K			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委員等旅費	研究評価検討委員会出席に係る交通費等	0			
	計		0	計		0
	D. 個人R			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	外国旅費	米国及びカナダにおける位置情報確認制度に関する研究における実地調査のための外国出張に係る交通費等	1			
	計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プロスパー・コーポレーション(一般競争)	位置情報確認制度研究資料の翻訳	3	4	73.4
2	エス・ビー・エス・エス(株)	SPSS研修受講	2	随意契約	-
3	佐伯印刷(株)(一般競争)	犯罪白書の印刷	2	4	62.2
4	光洋商事(株)(一般競争)	英文犯罪白書の翻訳	2	6	97.8
5	(株)ビーアンドディーヒロサワ(一般競争)	犯罪白書等の発送	2	3	83.5
6	レクシスネクシス・ジャパン(株)	外国法律文献データベース利用料	2	随意契約	-
7	(株)ブルーホップ(一般競争)	犯罪白書英文資料の印刷	2	6	84.8
8	丸善(株)	外国雑誌の購読料	1	随意契約	-
9	(株)ジイズスタッフ	調査票データ入力作業	1	随意契約	-
10	(株)エル・アイ・シー	書籍の購入	1	随意契約	-

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	研究会出席等	0.2	-	-
2	個人B	通訳	0.2	-	-
3	個人C	通訳	0.2	-	-
4	個人D	通訳	0.2	-	-
5	個人E	通訳	0.2	-	-
6	個人F	研究会出席等	0.1	-	-
7	個人G	研究会出席等	0.1	-	-
8	個人H	研究会出席等	0	-	-
9	個人I	研究会出席等	0	-	-
10	個人J	研究会出席等	0	-	-

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人K	研究評価検討委員会出席に係る交通費等	0	-	-
2	個人L	研究評価検討委員会出席に係る交通費等	0	-	-
3	個人M	研究評価検討委員会出席に係る交通費等	0	-	-
4	個人N	研究評価検討委員会出席に係る交通費等	0	-	-
5	個人O	研究評価検討委員会出席に係る交通費等	0	-	-
6	個人P	研究評価検討委員会出席に係る交通費等	0	-	-
7	個人Q	研究評価検討委員会出席に係る交通費等	0	-	-

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人R	公務出張にかかる交通費等	1	-	-
2	個人S	公務出張にかかる交通費等	1	-	-
3	個人T	公務出張にかかる交通費等	0.5	-	-
4	個人U	公務出張にかかる交通費等	0.5	-	-
5	個人V	公務出張にかかる交通費等	0.1	-	-
6	個人W	公務出張にかかる交通費等	0.1	-	-
7	個人X	公務出張にかかる交通費等	0.1	-	-
8	個人Y	公務出張にかかる交通費等	0.1	-	-
9	個人Z	公務出張にかかる交通費等	0.1	-	-
10	個人AA	公務出張にかかる交通費等	0.1	-	-